

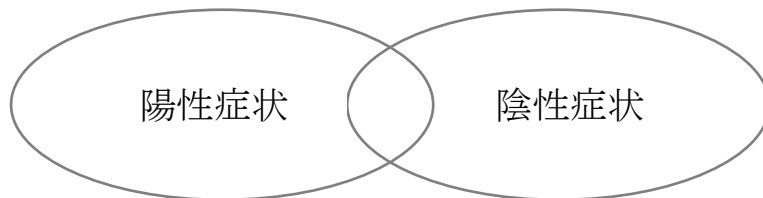
<今回のこころ塾は総合失調症です>

総合失調症のこころ塾は 5 回かけて行われます。総合失調症とは、どんな病気で、どのように治療していくのか、一緒に学んでいきましょう。

1. 総合失調症はどんな病気でしょうか？

総合失調症は、脳の機能障害です。脳の神経伝達機構がうまく機能しない結果、陽性症状と陰性症状と言われる神経症状が見られる病気です。

- ① **陽性症状**・・・幻聴が聞こえる、妄想があるなどの現実にはないことを認知する症状がみられます。
(1) 知覚、(2) 思考、(3) 自我に障害が出てきます。
- ② **陰性症状**・・・生き生きとした感覚が失われる、活動性が落ちる、感情が現れてこない、ひきこもりがちになるというような陽性症状に比べると目立たない症状ですが、日常生活や社会機能に大きな支障が出るものです。抑うつ感、意欲の低下、感情の平板化、注意力低下などが見られます。



- | | | | |
|-------|-------|---------------|---------|
| ・幻聴 | ・幻視 | ・言動の自然さの減退 | ・思考障害 |
| ・幻聴 | ・幻味 | ・集中力の低下 | ・注意力の低下 |
| ・体感幻覚 | ・思考減減 | ・生き生きとした感覚の減退 | |
| ・妄想 | ・思考吹入 | ・感情の平板化 | |
| ・思考奪取 | ・思考伝播 | ・意欲の低下 | |
| ・思考察知 | | | |

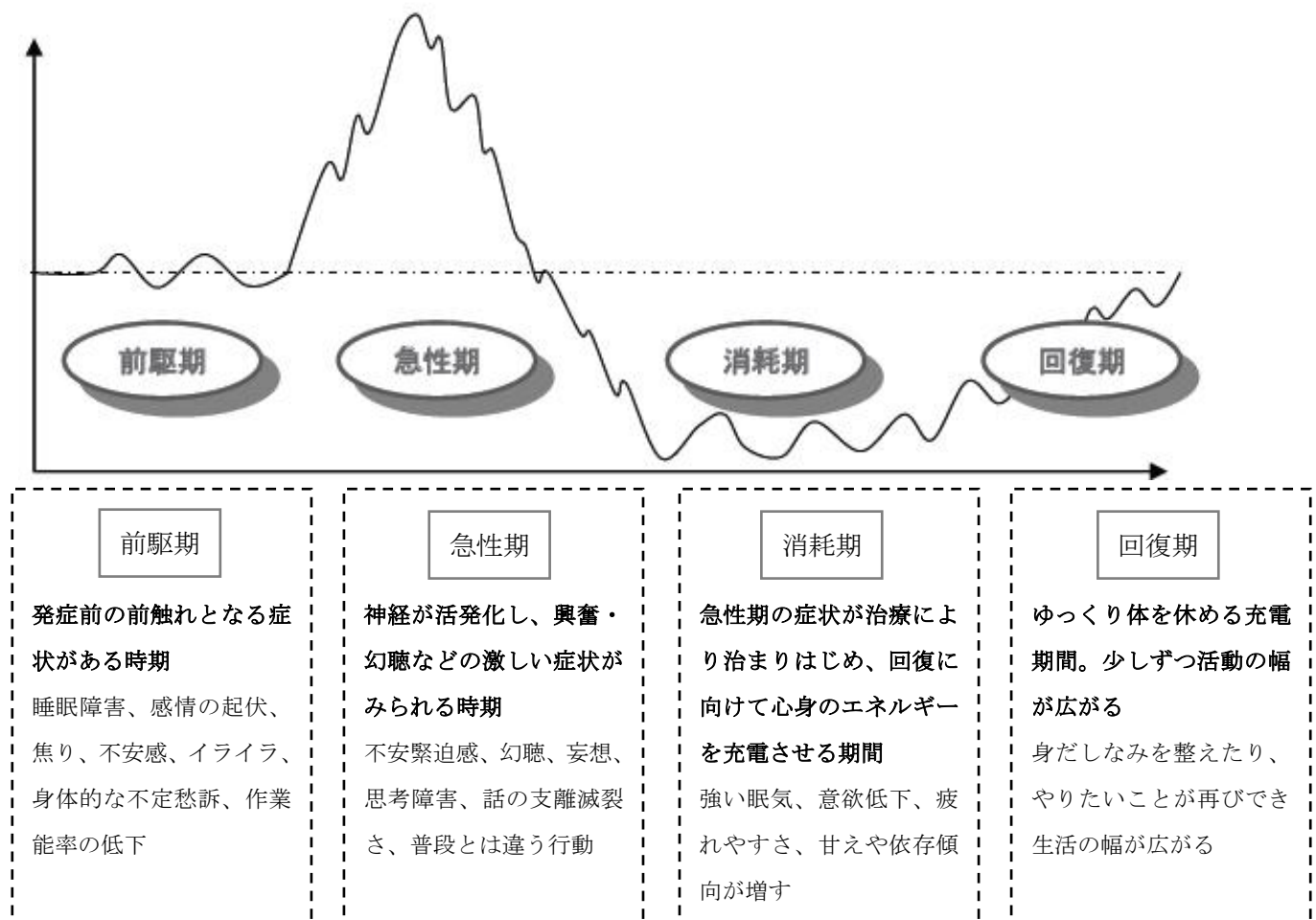
*幻聴：幻覚の中でも最もよくみられます。実際には存在しない声、メロディ、音などが聞こえます。人の声で聞こえてくるのが最も多く、内容は悪口や命令が多いようです。ネガティブな内容が多いので、不安になったり怖くなったり、時には攻撃的になることもあります。声、音として聞こえます。自分の考えが声になって聞こえることもあります。

*幻視：幻視はその他の幻覚に比べて総合失調症では出現する頻度が少ないとされています。これは、実際に存在しないものが見えるというものです。総合失調症では、本来、見えない場所、例えば頭の上とか、後ろの人の姿が見えたり漠然とした形を見ることがあります。

今、あなたには幻聴や被害妄想はありませんか？そこに居ない人の声が聞こえてきたり、後をつけられていると感じたりはしていませんか？

2. 総合失調症にかかるとどうなっていくのでしょうか

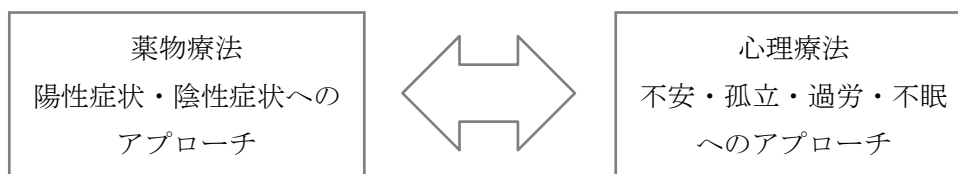
総合失調症にかかると、一般的には①前駆期 ②急性期 ③消耗期 ④回復期 という経過があるとされています。1人1人はこのモデル通りではなく、個性があります。



3. 総合失調症の治療

総合失調症においては「不安」「孤立」「過労」「不眠」（いわゆるストレス）が発症や再燃（再び陽性症状が出ることを言います）のリスク要因とされています。そこで、治療においては、症状の把握と「不安」「孤立」「過労」「不眠」の状態の把握が、大切になってきます。

治療法としては大まかに、①薬物療法、②薬物療法以外の治療法（心理療法）があります。



総合失調症は、脳の神経伝達機構がうまく機能しなくなる脳の病気です。病気のことを知り、ご自身の日常生活のリズムをいかに管理し、ストレスに対処していくことが大切です。

総合失調症のこころ塾ではこのような内容を学んでいきます。ご興味のある方は当院までご連絡ください。